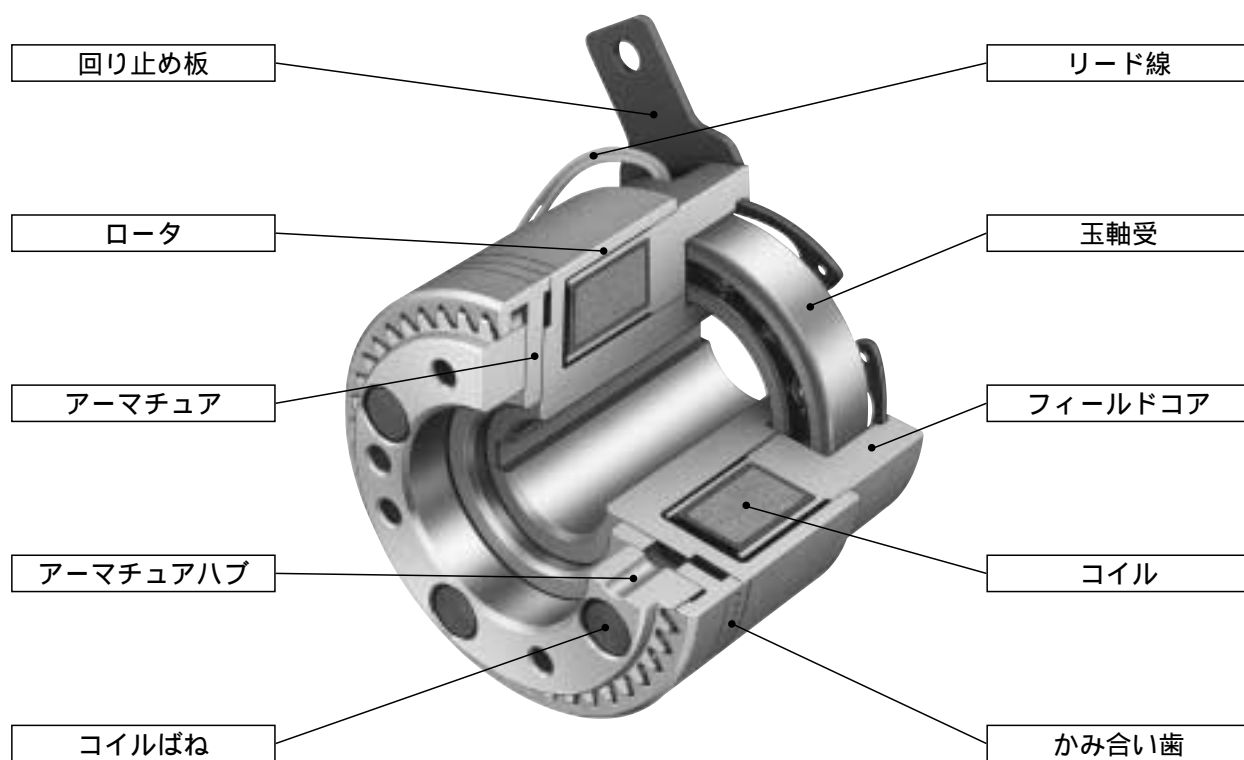


構造と動作

フィールド（静止部） ロータ（回転部）及びアーマチュアハブ組立（回転部）の主要3部品で構成されており、ロータとアーマチュアの吸引面には、かみ合い歯を形成してあります。50形以下は、フィールドがロータに玉軸受で支持された回り止め方式、100形以上はフランジ取付方式です。

コイルに通電するとフィールド、ロータ及びアーマチュア間に磁束を発生し、アーマチュアはロータに吸引されて、両方の歯がかみ合いクラッチは連結します。

励磁を切るとコイルばねによりアーマチュアは切り離されて、クラッチは解放します。



MZ形 クラッチ

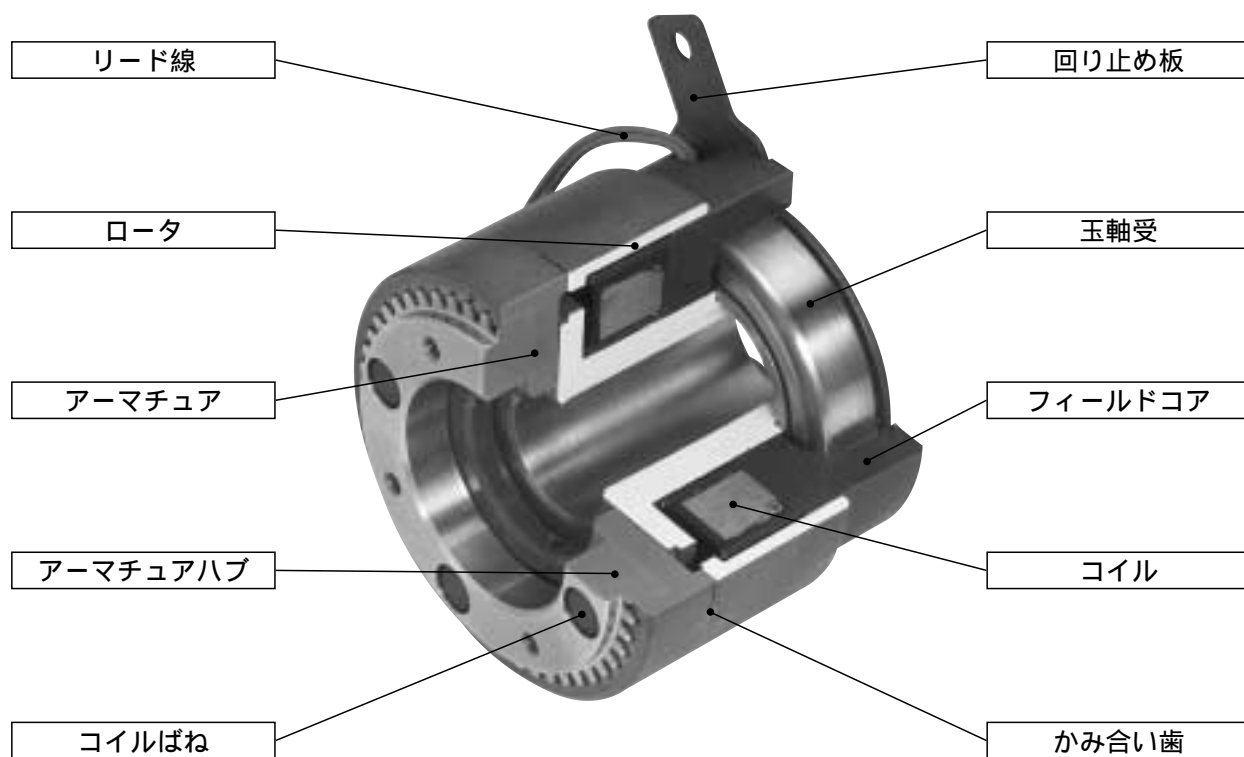
構造と動作

フィールド（静止部） ロータ（回転部）及びアーマチュアハブ組立（回転部）の主要3部品で構成されており、ロータとアーマチュアの吸引面には、かみ合い歯を形成してあります。

コイルに通電するとフィールド、ロータ及びアーマチュア間に磁束を発生し、アーマチュアはロータに吸引されますが、特殊ローラにより

定位置になるまで歯はかみ合いません。定位置になると歯のかみ合いによりトルクを伝達します。

励磁を切るとコイルばねによりアーマチュアは切り離されて、クラッチは解放します。



MZS形 クラッチ

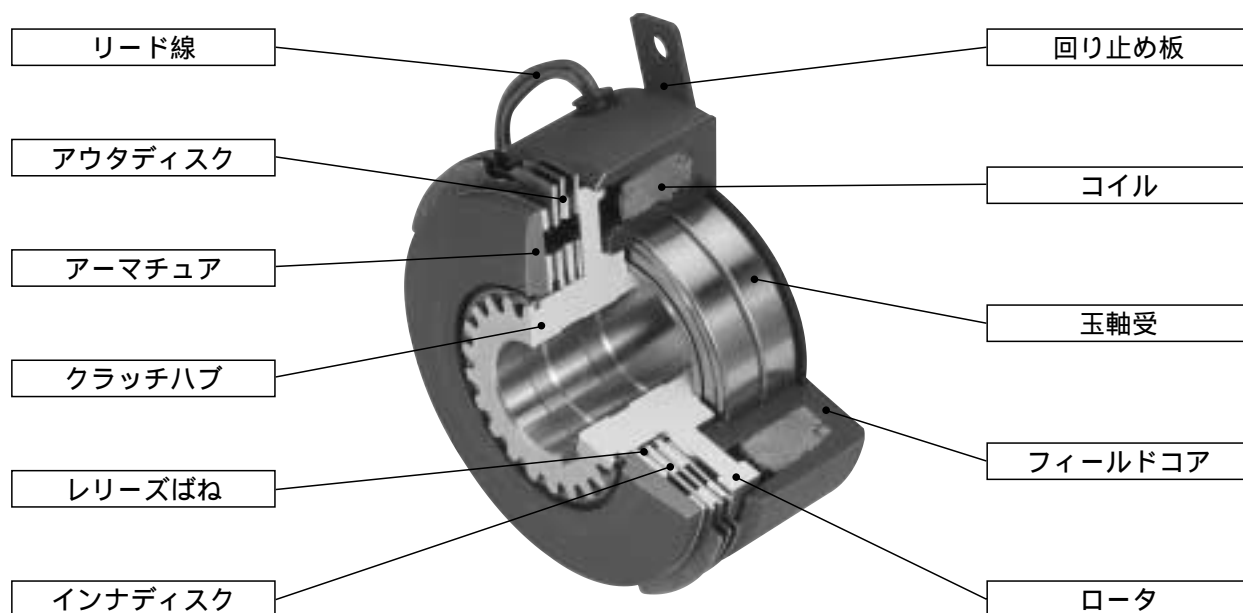
構造と動作

クラッチは、ロータと一体になったクラッチハブのスプラインにインナディスク、アウトディスク及びリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングをセットして動力を取り出します。

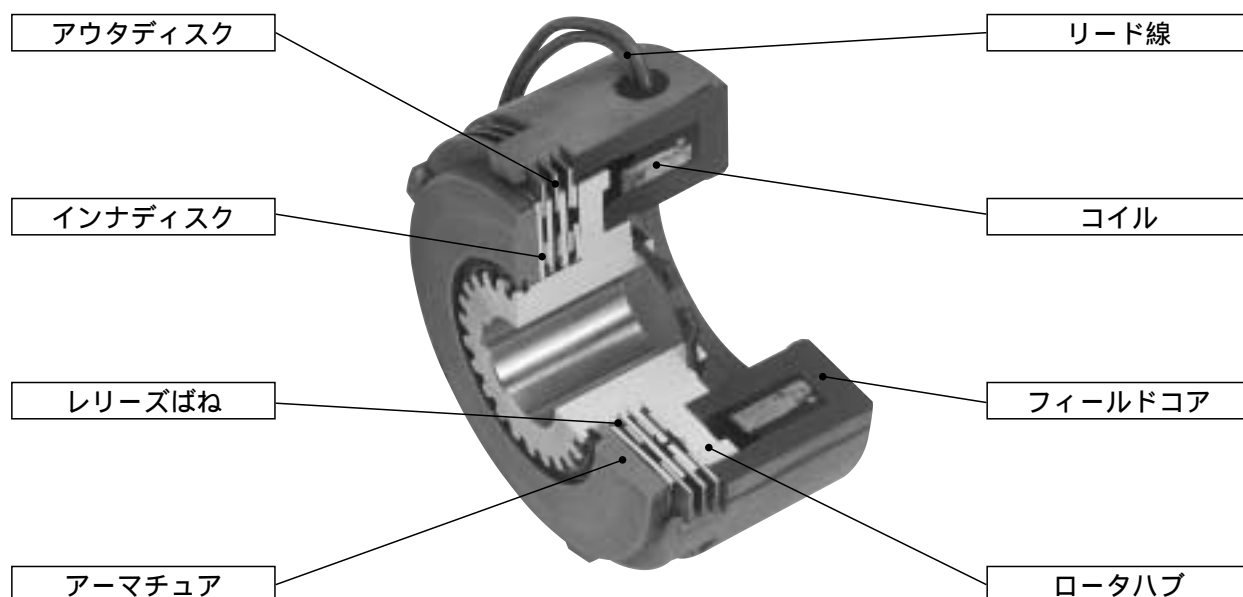
ブレーキはロータハブにアウトディスク、リリースばねとインナディスクを交互に入れ最後

にアーマチュアをセットしたもので、アウトディスクのラグ部にフィールドのカップリング部がかん合しています。

コイルに通電するとフィールド、ロータ、ディスク及びアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュア及びディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切るとリリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。ブレーキの動作も同様です。



MDC形 クラッチ



MDB-N形 ブレーキ

構造と動作

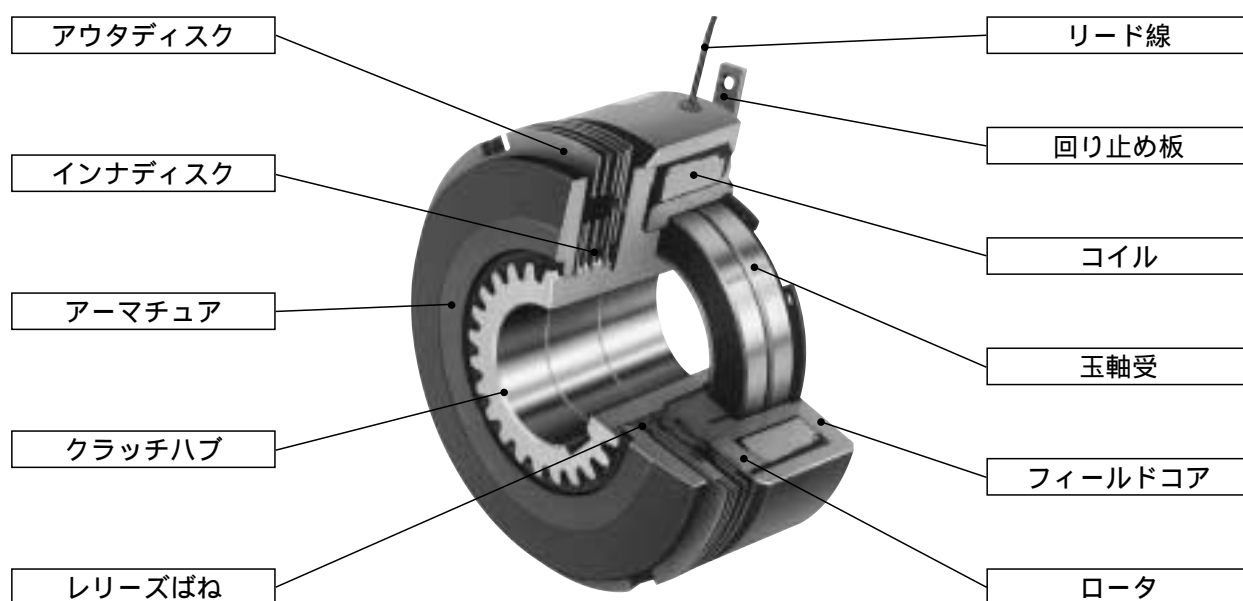
MWC形クラッチは、ロータと一体となったクラッチハブのスプラインにインナディスク、アウトディスク及びリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングをセットして動力を取り出します。

MWB形ブレーキはフィールドに固定されたカップリングにアウトディスクとインナディスクを交互に入れ最後にアーマチュアをセットした

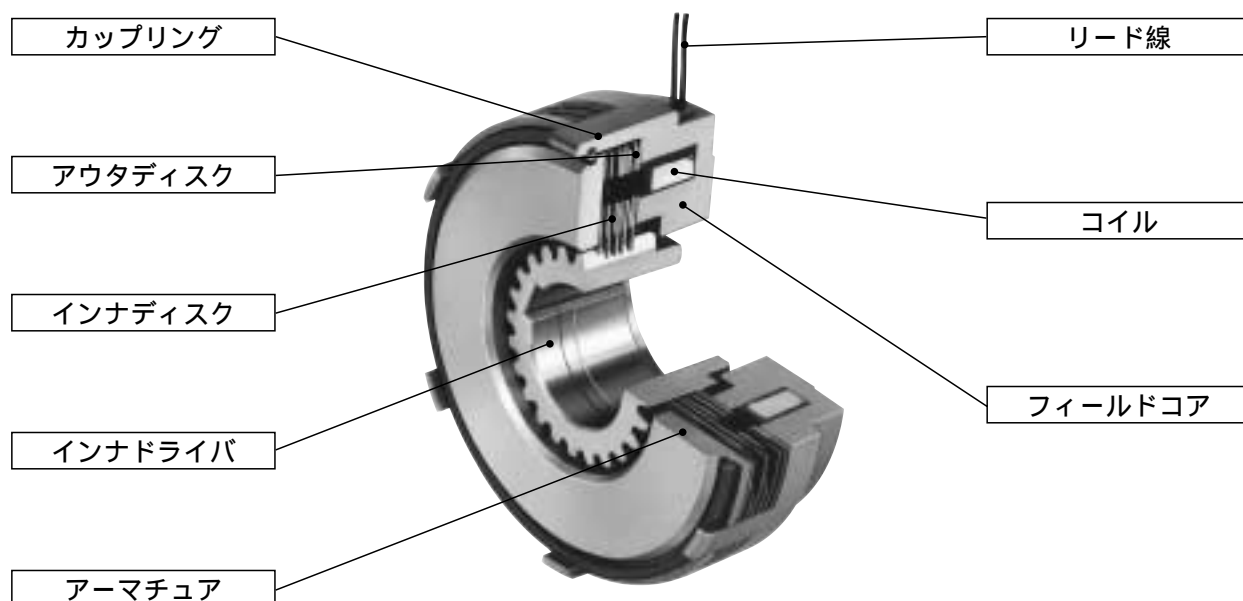
もので、インナディスクのスプラインにインナドライバがかん合しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータ、ディスク及びアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュア及びディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切るとリリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。

ブレーキの動作も同様です。



MWC形 クラッチ



MWB形 ブレーキ